

目次

中巻「儒家思想と道家思想」序……………3

第一部 儒家の思想……………11

- 一 『孟子』の研究——その思想の生い立ち……………13
- 二 孟軻の退隱……………51
- 三 孟子雑考……………67
- 四 『荀子』の文献学的研究……………79
- 五 『荀子』解説……………113
- 六 中と和……………129
- 七 中庸について——その倫理としての性格……………150
- 八 『尙書』舜典篇の成立——『尙書』の歴史とその思想……………186
- 九 『尙書』洛誥篇の錯簡説……………203
- 十 『論語』孔安國注の問題——敦煌本鄭注との関係をめぐって……………223
- 十一 鄭玄と『論語』……………233

付1 『論語』鄭注の発見

2 『論語』鄭注のその後

3 続『論語』鄭注のその後

第二部 道家の思想

一 帛書『老子』について——その資料性の初歩的吟味——

二 『莊子』内篇について

三 莊子の思想

四 無爲と因循

五 老莊の無の思想の展開——とくに実践的観念として——

六 『論語』中の隠者

第三部 諸派の思想

一 宋鉞の思想について

二 慎到の思想について

三 先秦における法思想の展開

四 『管子』四則

1 『管子』のこのごろ

2 『管子』中の道家思想

3 道法思想と『管子』

4 『管子』と経済

五 墨子評価の歴史

六 二つの『孫子』——『孫臏兵法』の翻訳にあたって——

付 『孫子』竹簡の発見

七 古佚書「經法」等四篇について

八 新出土資料と中国古代思想史

九 戦国年表雑識

273 276 278 283 285 300 331 353 366 378 401 403 406 441 455 455 458 462 465 469 473 489 493 515 524